

# 会 議 録

件 名	令和3年度第1回かほく市学校給食センター運営委員会		
日 時	令和3年11月16日(火) 午後2時00分～午後3時10分	場 所	かほく市役所 3階 302会議室
[内 容]			
◇出席者： 委員13名中7名出席 委任状2名			
◇委員長挨拶			
◇レジメと資料に基づき説明。			
1) 副委員長の指名 漢野委員(高松中学校校長)			
2) 令和3年度学校給食センターの運営について			
3) 令和3年度学校給食について			
①米飯給食の回数について			
県内の状況及び児童生徒の米飯給食に関するアンケートの結果を報告。			
【委員意見】			
・子どものアンケートの結果より、現状のままでよい。			
・地産地消の観点から、米飯給食を週5回にしてもいいのではないか。			
中学校だけでもご飯の回数を増やし、反応をみてもいいと思う。			
・米飯とパンでは、どちらが高くつくのか。			
〔事務局〕委託炊飯のため、米飯の方が高くなる。			
【まとめ】			
・アンケート結果を踏まえ、とりあえずは現状のままとする。			
②給食単価について			
平成26年度の消費税増税時に値上げして以来単価を据え置いてきたが、昨今の食品の物価の上昇により、厳しい状況である。			
【委員意見】			
・厳しい現状なら、値上げも仕方ないと思う。			
・委託炊飯が高かつくのなら、炊飯施設を作ればいいのか。			
・必要なら上げるべきだが、段階を踏まないと保護者の理解が得られないのでは。			
・ニュースでも食品の値上げがよく言われているので、値上げは仕方ないと思う。			
【まとめ】			
・値上げは、必要であれば、やむを得ない。価格については、必要最低限で。			

4) 年間献立について

年間計画を立て、食育を実施。地場産物の使用したふるさと給食、季節の献立、郷土料理、海外の献立等を取り入れ、子ども達が食に関心を持つように工夫している。また、限られた予算の中で栄養接種基準を満たす献立を考え、安心安全な美味しい給食の提供に努めている。

5) 石川中央保健福祉センターより情報提供

- ・新型コロナウイルス感染症は、今のところ落ち着いているが、いつまた第6波が来るかもわからない。基本の手洗い、うがいを続けていくことが大事。不特定多数の人が使うトイレなどの後は、流水でしっかりと洗い落すことが有効。
- ・これから食中毒が発生する時期である。ノロやカンピロバクターは少ない毒素で発生する。また、アレルギー性中毒を起こすヒスタミンは舌にピリピリとする特徴がある。検食時にいつもと違ったら気を付けるとよい。

6) その他

7) 副委員長挨拶